

加 佐

学校だより 9月号

令和2年8月19日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<http://kasa.maizuru.ed.jp/>



残暑の候 保護者、地域の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、本校の学校教育活動にあたたかいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

例年よりも約1週間早く、今日から2学期が始まりました。生徒たちは皆、晴れやかな表情で登校しています。新型コロナウイルスへの配慮が続く中での短い夏季休業でしたが、本校教員は舞鶴市内の小中学校で数ヶ月後には全面的に展開される「ギガスクール構想」に備えた校内 ICT 研修会や、新学習指導要領の理念を踏まえた加佐校区ならではの小中一貫教育推進に向けた校区研修会など、機会を設けて研鑽に励みました。



さて、2学期は最も長く、大きな行事が続きますが、今年度の体育祭・文化祭については、いずれも内容をコンパクトに工夫し、生徒・保護者のみの参加による実施とします。また、修学旅行については、感染のリスクは徹底して排除し、それらに伴う不安も払拭せねばなりません。関係機関と連携しながら安心・安全の確保を最優先に検討し、行程の変更・中止も含めて慎重に精査しています。

インセンティブ Incentive

新たなことを始めた際に、当初はなんだかもうひとつだったのに、辛抱して続けているうちにだんだんと真価がわかってきたり、苦難の道を通り切ったときにはじめて味わえる喜びを経験したことはありませんか。若い時の苦労は買ってでもとか・「だから、つまらない授業もしんどいテストも面倒な宿題も、我慢して頑張ろう。」と続けてしまっただけでは、今の時代、身も蓋もありません。

社会的自立に向けた力を生徒一人ひとりが自ら身に付けるための、日々の動機付けについて示した複数の書物で、インセンティブという言葉が使われています。

学校教育法第30条で示された、学力の3つの重要な要素の実現に向けて、「主体的・対話的で深い学び」が謳われる中、学び手の「やる気UP」は欠くべからざる要素です。全ての子供たちにふさわしい、質の高い学習を保障するために、「楽しい・分かってほしい・面白い」など、学校や家庭での学習に根本的なところで値打ちをもたせるための仕掛けが欠かせません。

2学期の学校教育活動がスタートします。スポーツ、文化芸術・学習全般における多様な出会いやきっかけから、やがて「探究（求）心」「使命感」等へと広がり深まる“学びのドラマ”が待ち受けています。ドラマの主人公は、もちろん自分自身です。

「主人公は自分！」の心構えが8月の目当てです。

立秋を過ぎても厳しい暑さが続きます。保護者・校区の皆様方におかれましては、くれぐれもお体を大切にどうぞご自愛ください。

舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同

